

## 野焼き

3月21日、吉無田高原で野焼きが「緑の村」周辺の草原地帯で行われました。野焼きは、害虫駆除や新緑の芽立ちを助け、山林火災の防止などを目的とした春の伝統行事です。地域住民や消防団などが参加して、高原山頂から火入れを開始。枯れ草に火を入れると、バチバチと音を立てながら燃え上がり、一面は炎の帯に包まれました。



ごうごうと燃えさかる炎



神秘的な雰囲気を感じるほとりの森

## 吉無田フットパス

3月27日、NPO吉無田地域自然愛好会準備会（渡辺秀和会長）主催の「吉無田高原のフットパス」が開催され、約100人が参加しました。大人から子どもまで多くの人が集ったフットパスは、野焼きを見学後、穂木を採っていたとされる「ほとりの森」などを散策し、約4.5kmのコースを歩きました。昼食には赤ナバごはんや山菜の天ぷらなどが振舞われ、参加者は春を満喫しました。渡辺会長は「吉無田には地元の人でも知らない面白い所があるので、今後も魅力を伝えていきたい」と話しました。

## カルチャースクール閉講式

3月8日、カルチャーセンター大会議室で「カルチャースクール閉講式」が開催されました。今年度は手芸、絵画、童謡、癒しのアロマテラピー、手編み・クラシックギター・着付け教室の7つが開講され、受講した生徒はのべ95人。式では27人に皆勤賞が贈られ、受講生たちは童謡の合唱やギターの演奏など、一年間学んできた成果を発表しました。また、2日から8日まで、ホワイエでは作品展も開催され、生徒たちの作品が約60点展示されました。



着付け教室受講生による着物のお披露目

## 健康ウォーキング&スポーツ体験会開催

3月20日、フネッピーすこやかスポーツクラブ主催でウォーキング大会とスポーツ体験会が開催されました。午前のウォーキングでは「5人の先哲田見コース（5km）」と「5人の先哲木倉コース（9km）」の2コースに、子どもから大人まで約100人が参加。町観光ガイドによる史跡等の説明を聞きながら、春の陽気の中を歩きました。午後のスポーツ体験会（会場：町スポーツセンター・御船小体育館）には、子どもから大人まで約200人が参加。トランポリンなど12種目の無料体験会が行われ、参加者はフネッピー指導者と一緒に楽しく汗を流しました。



町観光ガイドによる史跡説明を聞く参加者

## 地域みんなで婦人会活動を

3月27日、町地域婦人会総会が町カルチャーセンターで行われ、約100人が参加しました。総会では、増田幸子会長が「女性の視点から地域活性化を目指していきたい」とあいさつ。婦人会の平成28年度がスタートしました。

### ●校区支部会長問い合わせ先

御船・竹田津和子（☎282-2524）／木倉・増永洋子（☎282-7693）／七滝・平野立江（☎285-2182）／滝尾・松岡洋子（☎282-7162）



婦人会活動ができる人を募集中です。詳しくは各支部長まで

## カルチャーセンター音楽祭

3月13日、カルチャーセンターで第19回町カルチャーセンター音楽祭が開催されました。御船町、甲佐町、益城町、山都町から10団体が参加し、合唱による美しい歌声やトーンチャイムの演奏などを披露しました。今年は若宮神社通し物伝承会が初参加。太鼓と三味線の音に合わせて「通し物のうた」を合唱しました。また、ゲスト演奏では、バイオリニストの朝来桂一さんとピアニストの小町美佳さんが出演し、美しい音色に観客は聞き入っていました。



若宮神社通し物伝承会による合唱



検査はインター付近や七滝地域で行われた

## 自生GMナタネ汚染調査

3月30日、グリーンコープ生協くまもと関係者による、自生ナタネの汚染調査が行われました。外国では、GM（遺伝子組換え）されたナタネが栽培されており、日本はそのナタネを飼料として輸入しています。この調査は、御船町に自生しているナタネが、GMナタネが拡散したものを調べるもの。検査の結果、採取したものはGMナタネではないことがわかりました。上益城地区委員長の溜香苗さんは「GMのことは知るきっかけにしたいと思います」と話しました。



リラックスした雰囲気の中で講義を受ける参加者

## 恐竜ガイドに挑戦

恐竜に関する知識や技能を学習し、恐竜ガイドを養成する、恐竜ガイド養成講座（全5回講座）が、3月12日、観光交流センターで開催されました。恐竜の郷みふねプロジェクト（竹田津純代表）主催。4期生の最後の講座には11人が参加。サイエンスカフェ方式で行われ、参加者はリラックスした雰囲気の中、池上直樹主任学芸員の講義を受けました。受講者は4月12日に開催される認定試験に挑戦。認定後、恐竜ガイドとして活動を行う予定です。